



## 45000-XNRC-KOSO HIGH PERFORMANCE BRAKE SYSTEM

### 取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。  
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。  
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

### お取り付けの前に

- ・ 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
- ・ 取り付け前に、適合車種の確認を行って下さい。  
[適合車種] CIVIC TYPE R 6BA-FL5
- ・ ブレーキは重要保安部品です。交換作業はお近くのホンダディーラーや自動車整備工場で行って下さい。  
※本書の内容は自動車整備士及び整備について十分な知識、経験を持った方を対象としています。  
経験が無い方のみでの交換作業はケガや事故または走行中の車両トラブルを招く恐れがあり、大変危険ですので絶対に行わないで下さい。
- ・ 本製品は車種毎にテストを行い適合を設定している為、適合車種以外への取り付けは絶対に行わないで下さい。
- ・ 本製品は無制限ブレーキパッドとの組み合わせを想定し設計されています。無制限ブレーキパッド以外との組み合わせにおいては未確認の為、ジャダーやノイズが発生する場合があります。
- ・ 本製品にはブレーキフルードが付属されていない為、別途ご用意下さい。  
【推奨製品】ハイパフォーマンスブレーキフルード（90000-XYB-B100）2缶
- ・ 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
- ・ 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部

【営業時間10:00~12:00、13:00~17:00

（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

## 【コーションマークについて】

取り付け作業者及び使用されるお客様が傷害を負う可能性があることや、取り付け作業に関するアドバイスなどを下記の表示を使用し記載しています。



**危険**

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの



**警告**

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



**注意**

指示に従わないと、傷害を負う可能性があるもの

**アドバイス**

車両や製品の故障、破損するのを防ぐためのアドバイスや、知っておいていただきたいこと



禁止事項

## 【取り付け作業者及び使用されるお客様へのご注意】



**警告**

- ・ 交換作業はブレーキが十分に冷え切った状態で行って下さい。走行直後のブレーキは非常に高温の為、触れると火傷の危険があります。
- ・ 取り付けの際、ブレーキパッド及びブレーキディスクの摺動面に油脂類等が付着しないように注意して作業を行って下さい。ブレーキ性能が著しく低下し大変危険です。油脂類が付着した場合は、必ずブレーキクリーナー等で洗浄して下さい。
- ・ スポーツ走行等によりブレーキディスク摺動面に5mm以上の長さのクラックが発生した場合は、大変危険ですので必ず交換を行って下さい。

## アドバイス

- ・ ブレーキパッドは衝撃に弱い部品です。取り付け時は落下させるなど強い衝撃を与えないように注意して下さい。
- ・ 交換作業を行う際は関連部品を点検し、異常があった場合はサービスマニュアルに従って交換または修理を行って下さい。
- ・ 部品交換が発生した際は必ず左右同時に交換を行って下さい。
- ・ 本製品にはシムセットは付属しておらず、また、装着することができません。
- ・ 本製品は一般的なブレーキパッドに比べ制動性能を重視している為、ブレーキノイズ（鳴き）が発生します。また、ブレーキダストの発生が多く、耐摩耗性能について劣る場合があります。
- ・ 本製品は低温時に制動力が低下します。
- ・ 交換直後はブレーキパッドとブレーキディスクとの間に馴染みが出ていない為、制動力が低下します。馴染むまでは急制動を控え、十分な制動距離を確保して下さい。
- ・ 装着直後に意図的にブレーキ温度を上げたりせず慣らし運転を行って下さい。
- ・ 被膜を形成させて性能を発揮する為、当たりが付いていない状態で急激にブレーキディスクの温度を上げると部分的に被膜が形成されブレーキの効き不足やジャダーが発生する恐れがあります。
- ・ 使用適正温度を超える範囲でのご使用は大変危険ですので絶対にお止め下さい。  
また、ブレーキディスクの急激な加熱、冷却は製品の割れ、歪み、ジャダーなどを引き起こす原因となりますので絶対にお止めください。
- ・ ブレーキパッドは消耗品です。限度を超えた摩耗状態での使用は大変危険ですので絶対にお止めください。本製品はウェアインジケータが装着されていない為、目視による定期的な点検が必要です。摩耗材厚み4.0mmを目安に摩耗限度に達する前に早めの交換を心掛けて下さい。  
※本製品の摩耗限度：摩擦材厚み2.0mmまで
- ・ ブレーキディスクの摩耗限度は総厚み3.4mmです。定期的に点検し、摩耗状況やその他の異常が無いかをサービスマニュアルに従って点検し、早めの交換を心掛けて下さい。
- ・ 製品の性能を十分に発揮させる為、ブレーキフルードの交換をお勧めします。
- ・ 本製品のブレーキキャリパーには塗装がされていますが、ブレーキ作動や周辺部品の温度上昇により、高温時に塗装が侵される場合があります。
- ・ 本製品の洗浄にあたり高压洗浄機等の使用は避けて下さい。印刷されたロゴが剥がれる場合があります。
- ・ 交換作業の際は保護手袋をして下さい。パッドの摩耗材に含まれる成分により手にケガを負う危険があります。
- ・ 交換作業の際はマスクをすることをお勧めします。パッドからの摩耗粉の飛散により、体内に侵入する恐れがあるので、十分な注意を払って作業を行って下さい。

### 〈ブレーキパッドとブレーキディスク間における張り付きに関して〉

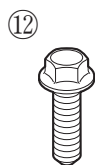
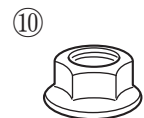
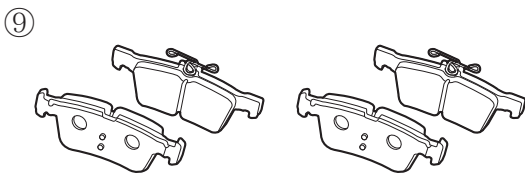
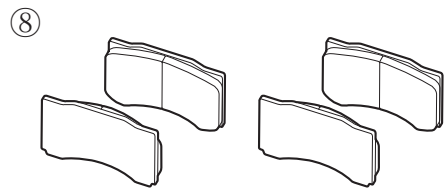
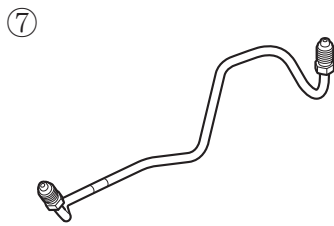
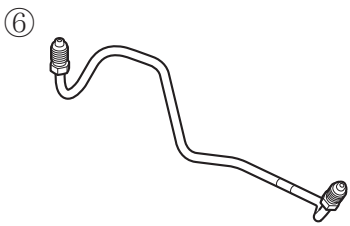
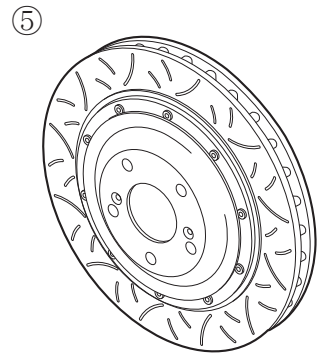
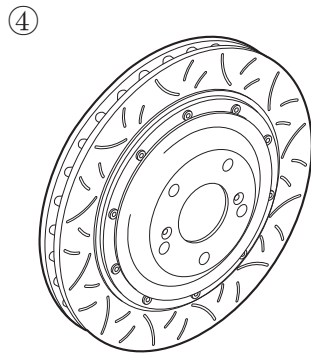
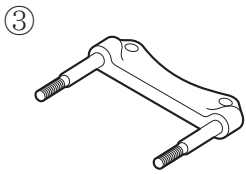
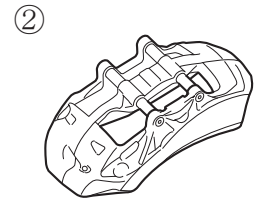
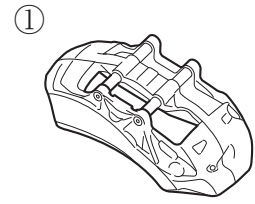
- ・ 本製品は制動力を高めることを目的に鉄分の含有量が多い材質を使用しています。
- ・ ブレーキが濡れた状態で長時間放置しておくと、鉄分が酸化しブレーキパッドとブレーキディスク間で張り付きが発生し、振動や異音、ブレーキ固着の原因になる恐れがあります。
- ・ 洗車後はブレーキパッドに水を掛けることを避け、長時間駐車する場合は駐車の前に走行してブレーキ操作を行い、ブレーキパッドとブレーキディスクの水分を可能な限り除去して下さい。
- ・ 状況によっては降雨時の長時間駐車においても張り付き及び振動、異音が発生する場合があります。
- ・ 再始動時は急発進を避け、慎重な発進操作を行って下さい。
- ・ 張り付き及び振動、異音が発生した場合は、ホンダディーラーや自動車整備工場にご相談下さい。

### 〈参考値：新品時データ〉

ブレーキディスク厚み・・・約3.5mm  
フロントブレーキパッド摩擦材厚み・・・約1.2mm  
リアブレーキパッド摩擦材厚み・・・約1.0mm  
ブレーキパッド使用適正温度・・・50～800℃

# 【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	フロント ブレーキ キャリパー (L)	1
②	フロント ブレーキ キャリパー (R)	1
③	キャリパー ブラケット	2
④	フロント ブレーキ ディスク (L) (刻印: 78)	1
⑤	フロント ブレーキ ディスク (R) (刻印: 88)	1
⑥	ブレーキ パイプ (L) (ラベル印字: L/H)	1
⑦	ブレーキ パイプ (R) (ラベル印字: R/H)	1
⑧	フロント スポーツ ブレーキ パッド キット	1
⑨	リア スポーツ ブレーキ パッド キット	1
⑩	フランジナット	4
⑪	ワッシャー	4
⑫	フランジボルト (M14×44mm)	4
⑬	フロント ブレーキ キャリパー用ブリード スクリュー (予備)	2
⑭	WEB取説ご案内シート	1



本書本文中の使用部品番号は  
構成部品表に準じます。

## 【必要工具】

- ・ プラスドライバー ・ ラチェットレンチ ・ トルクレンチ
- ・ ソケットレンチ 13 mm、19 mm ・ メガネレンチ 19 mm
- ・ ヘックスソケットレンチ 7 mm ・ ヘックスレンチ 7 mm ・ フレアナットレンチ 10 mm
- ・ フレアナットソケットレンチ 10 mm ・ ピンドライバー (パッド ピンを外す際に使用)
- ・ ハンマー ・ ブレーキキャリパーレンチ ・ プライヤー

### I. 取り付け準備

#### アドバイス

- ・ 車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
- ・ 作業は左右同様に行うこと。
- ・ 作業前にメンテナンス モードにしておくこと。

1. 車両をリフトアップまたはジャッキアップする。(サービスマニュアル参照)

#### ⚠ 危険

- ・ ジャッキアップの際は、リジトラックを使用し、車両が安全な状態であることを確認すること。

2. ホイールを取り外す。

## II. ハイ パフォーマンス ブレーキ システムの取り付け

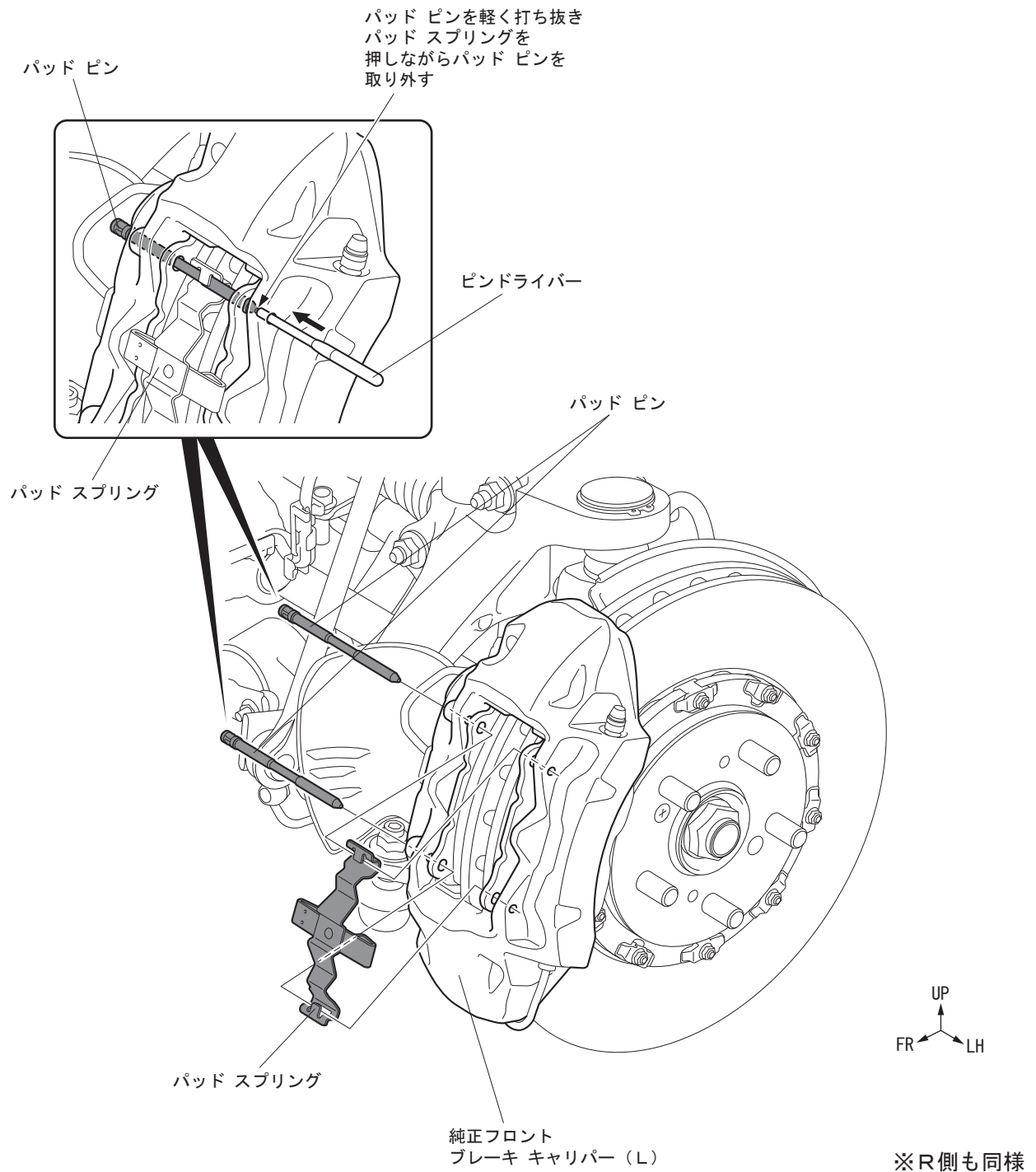
### II-I. 取り外し

1. パッド ピンを取り外す。

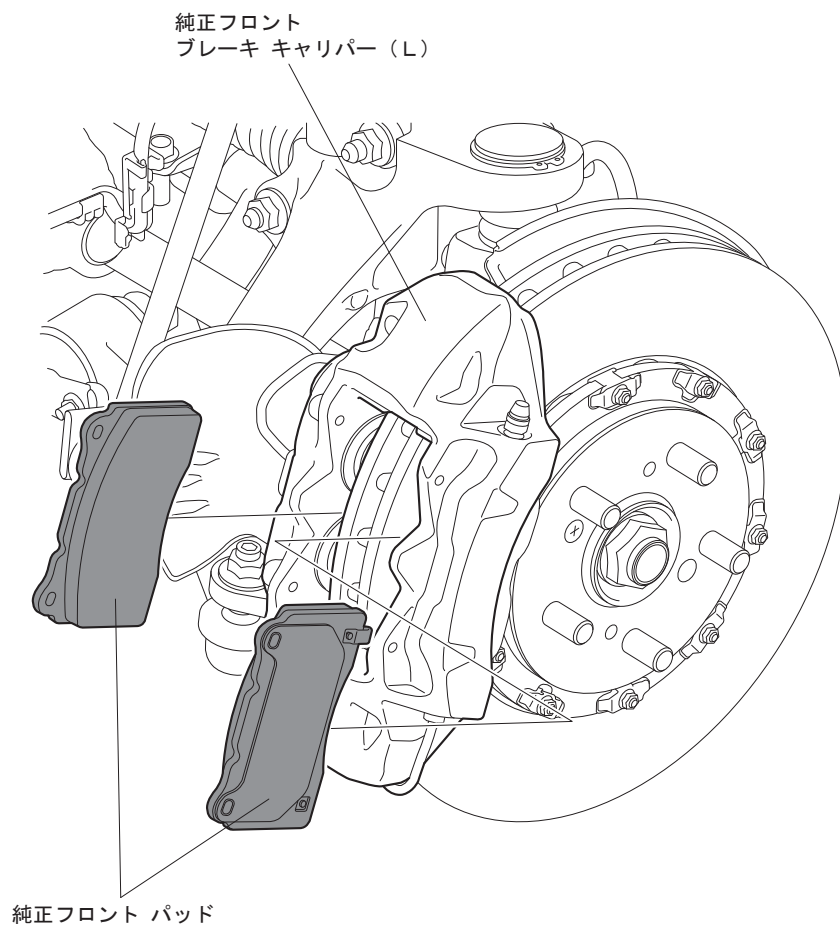
#### アドバイス

- ・ キャリパーに傷を付けないように注意すること。

2. パッド スプリングを取り外す。



3. 純正フロント パッドを取り外す。



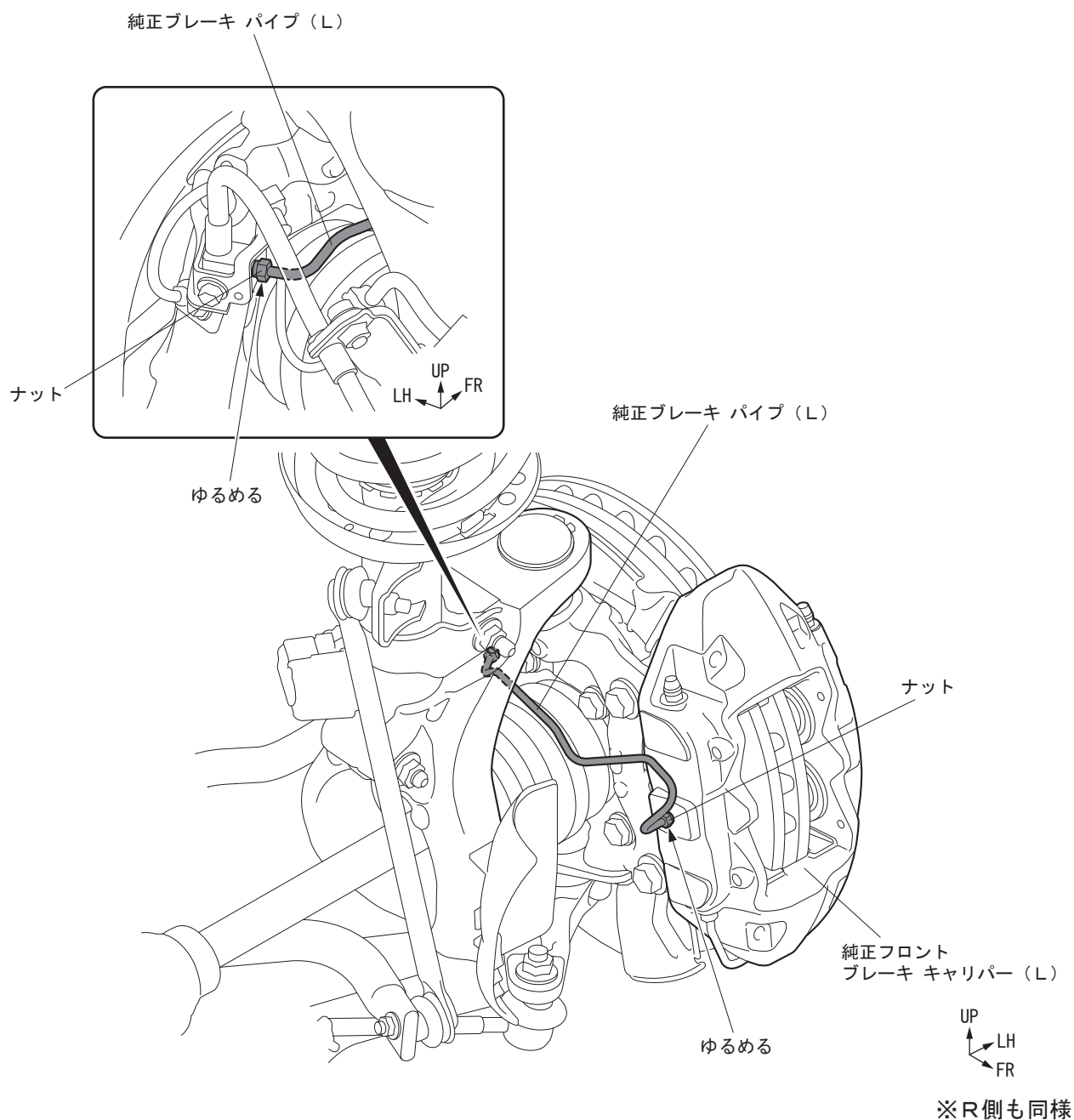
※R側も同様

#### 4. 純正ブレーキ パイプ (L) を取り外す。

### アドバイス

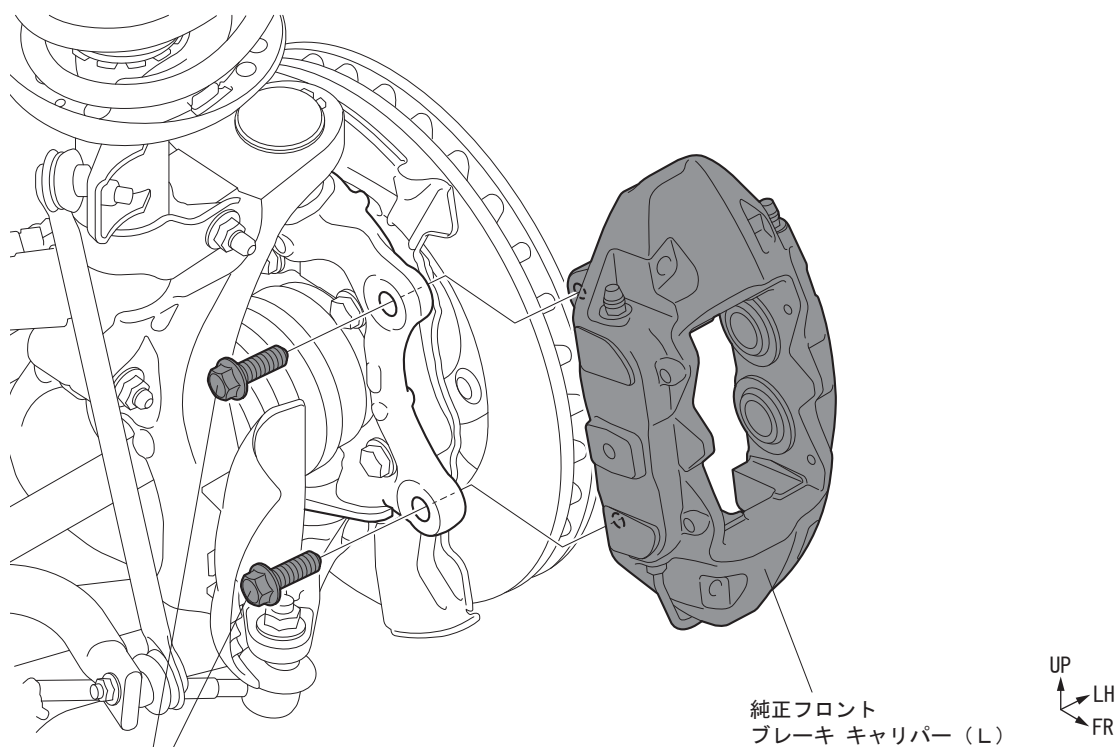
- ・ 周辺部品にブレーキ フルードが付着しないように注意すること。
- ・ 周辺部品にブレーキ フルードが付着してしまった場合は、すぐに清掃すること。

### [裏面視]



5. 純正フロント ブレーキ キャリパー (L) を取り外す。

[裏面視]

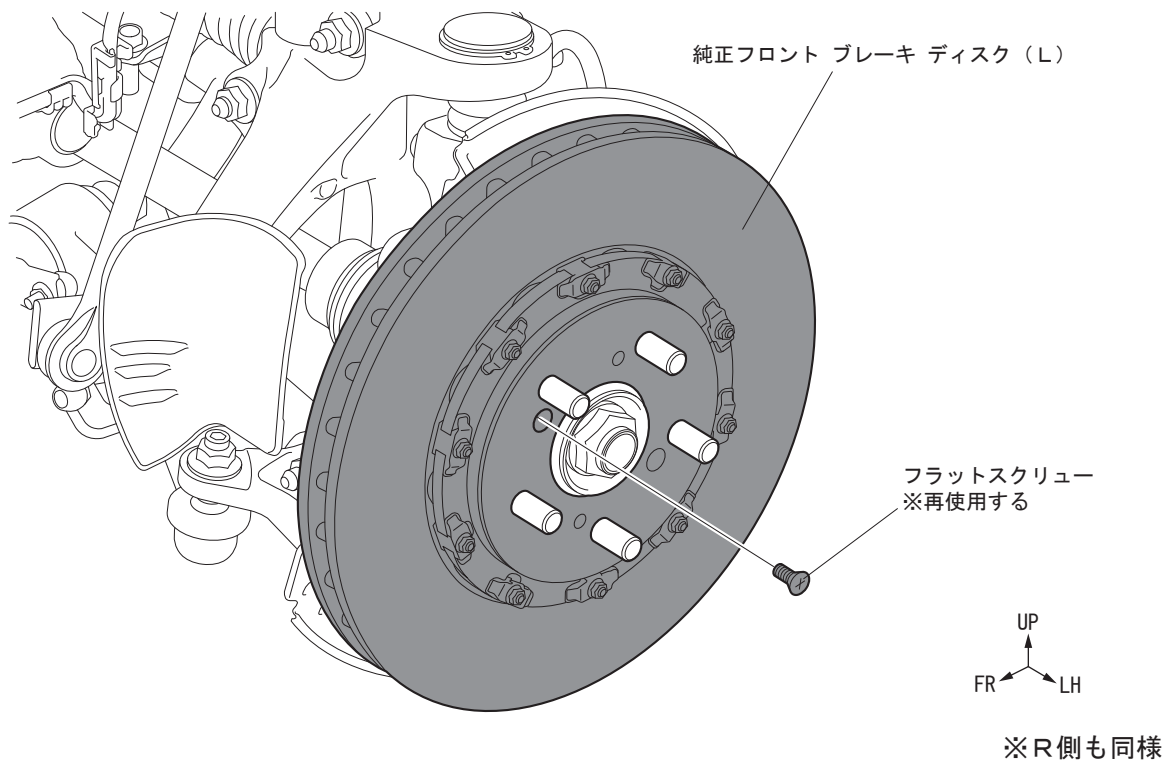


※R側も同様

6. 純正フロント ブレーキ ディスク (L) を取り外す。

### アドバイス

- ・ 取り外したフラットスクリューは再使用する為、紛失や破損に注意すること。
- ・ ブレーキ ディスクが錆などで固着して外しにくい場合は、M8 ボルト (ピッチ 1. 2 5 mm) を均一に締め込んで取り外すこと。



## II-II. 取り付け

### アドバイス

- ・ ハイ パフォーマンス ブレーキ システム及び車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
- ・ 作業は左右同様にを行うこと。

7. ④フロント ブレーキ ディスク (L) を脱脂洗浄する。

8. ④フロント ブレーキ ディスク (L) を取り付ける。

### アドバイス

- ・ 必ず刻印を確認してから取り付けること。
- ・ 取り付け面の錆や異物を取り除き、清掃してから取り付けること。

#### [使用部品]

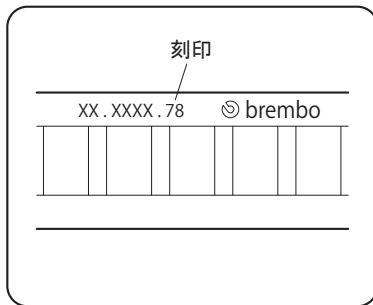
(2)



フラット  
スクリュー  
(再使用)

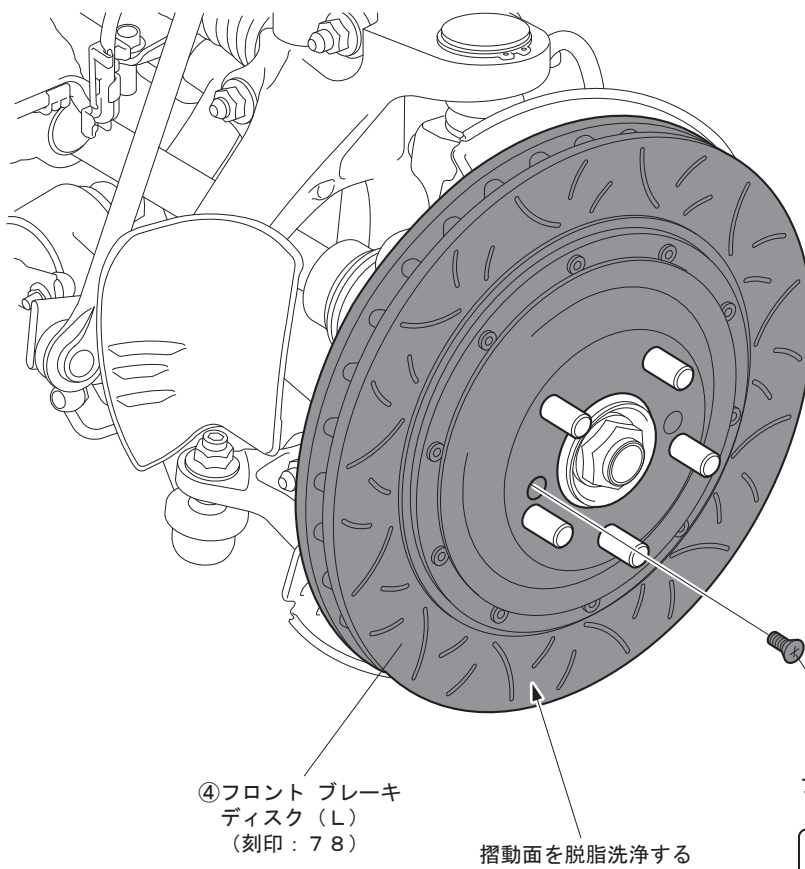
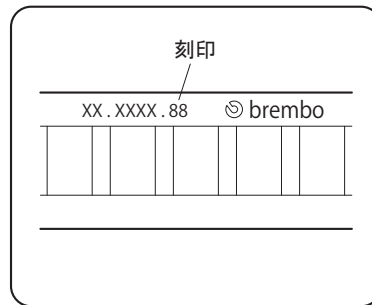
[拡大図 (刻印) :

④フロント ディスク ブレーキ (L) ]



[拡大図 (刻印) :

⑤フロント ディスク ブレーキ (R) ]



④フロント ブレーキ  
ディスク (L)  
(刻印 : 78)

摺動面を脱脂洗浄する

フラットスクリュー  
(再使用)

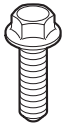
トルク : 9. 5 N · m

※R側も同様

9. ③キャリパー ブラケットを取り付ける。

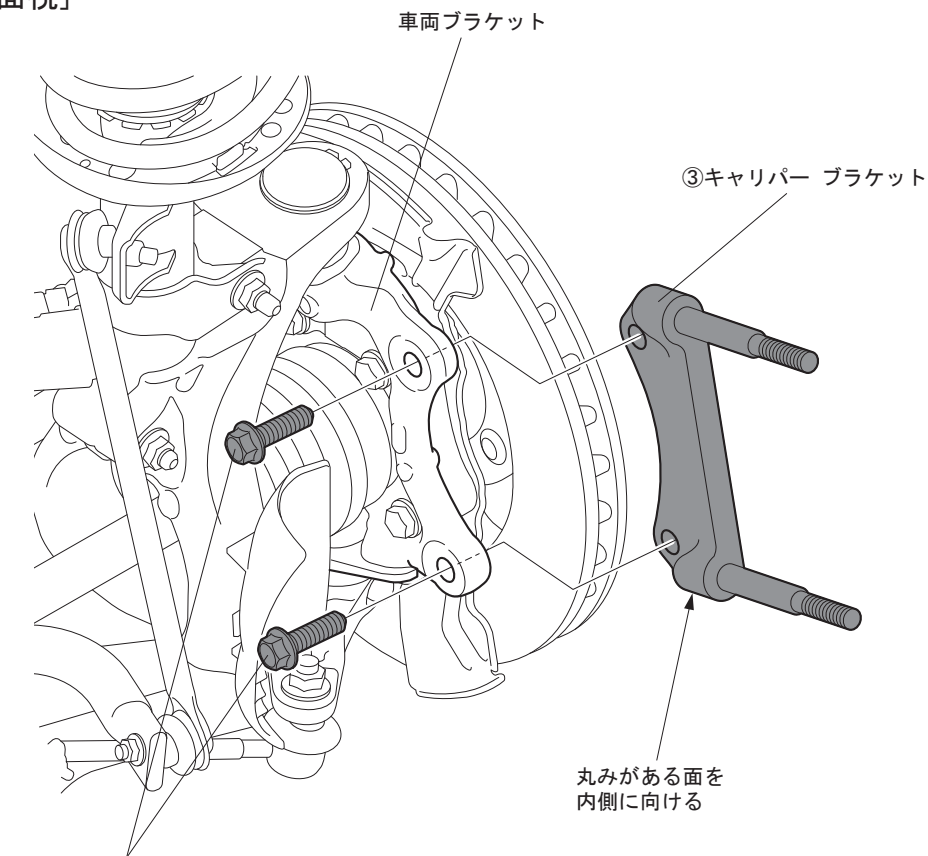
[使用部品]

⑫ (4)



フランジボルト  
(M14 × 44 mm)

[裏面視]



⑫フランジボルト  
(M14 × 44 mm)

トルク : 140 N・m

※R側も同様

10. ①フロント ブレーキ キャリパー (L) を取り付ける。

[使用部品]

⑩ (4)



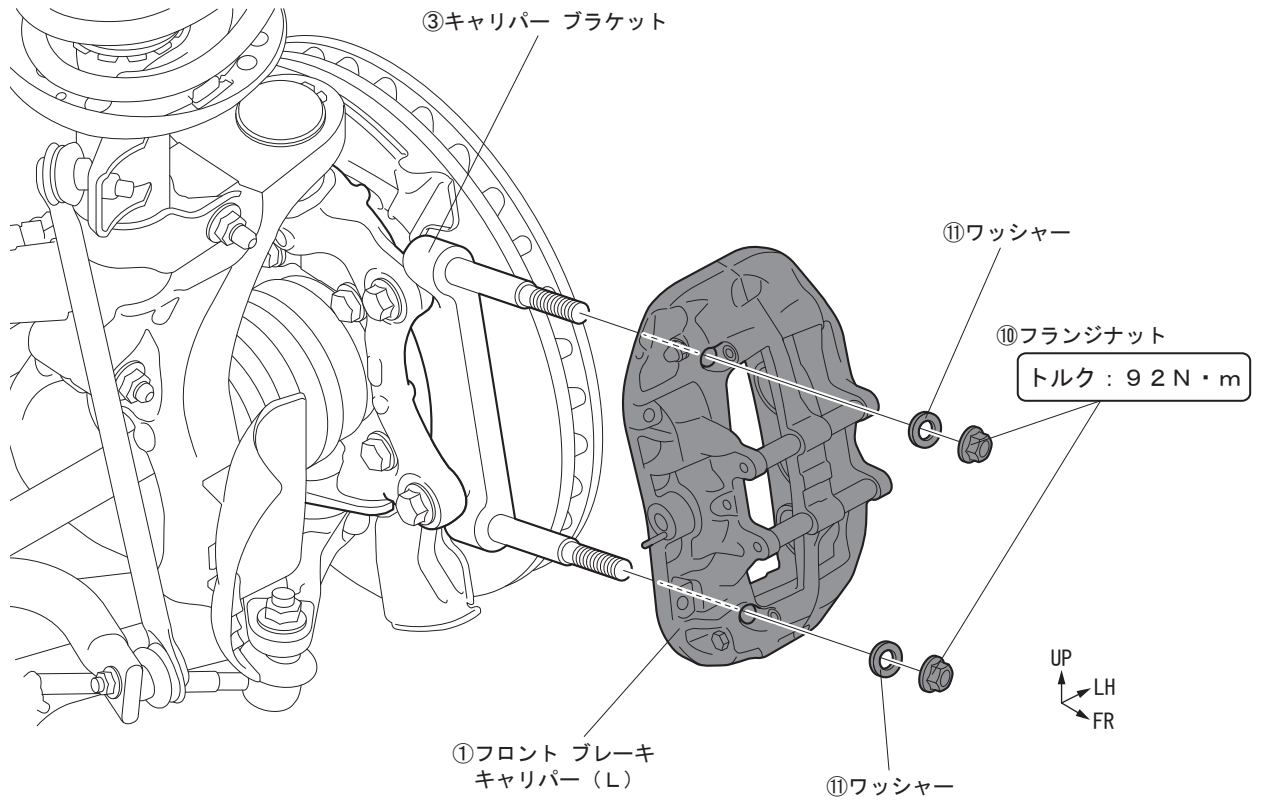
フランジナット

⑪ (4)



ワッシャー

[裏面視]

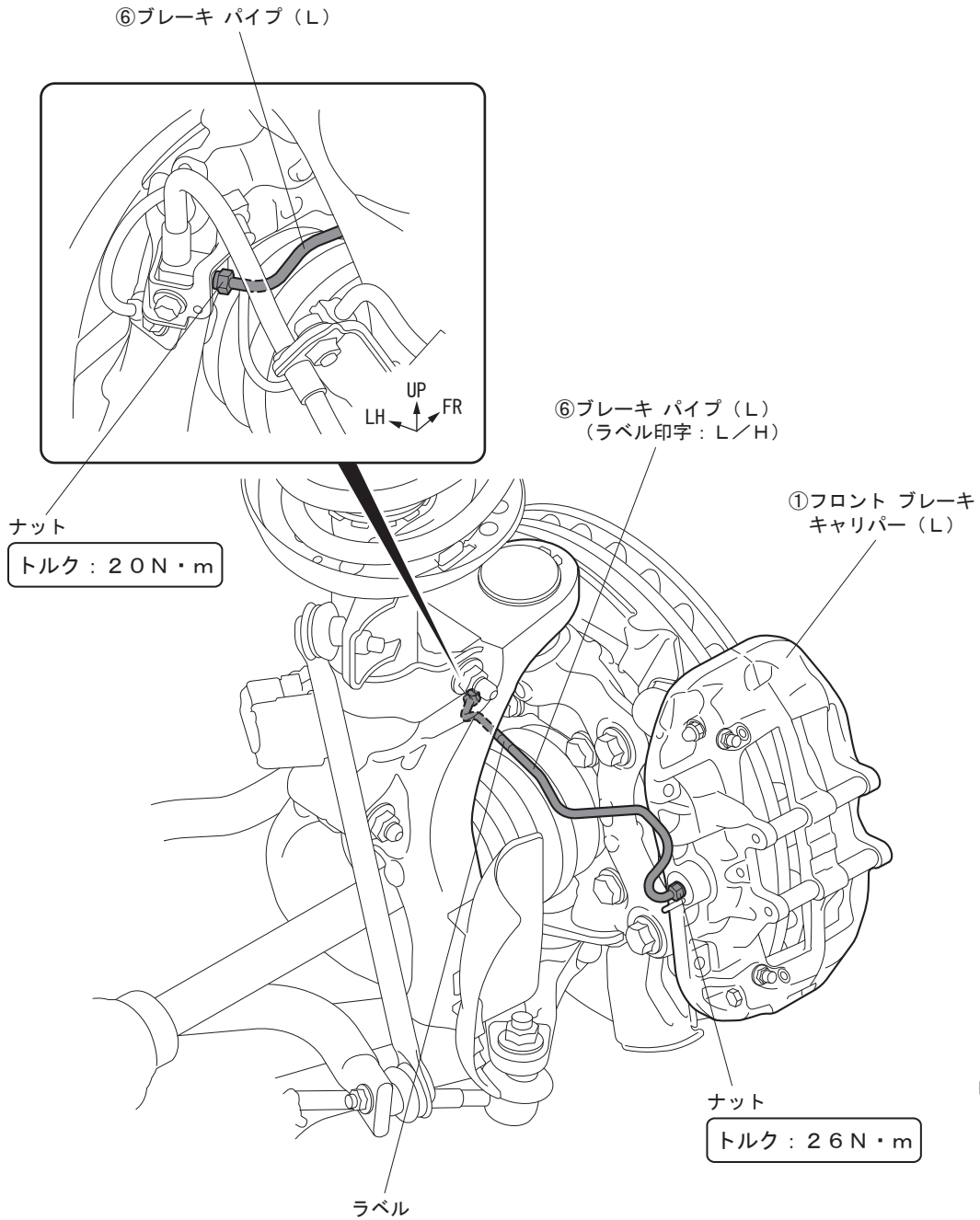


1 1. ⑥ブレーキ パイプ (L) を取り付ける。

### アドバイス

- ・ 必ずラベル印字を確認してから取り付けること。

[裏面視]

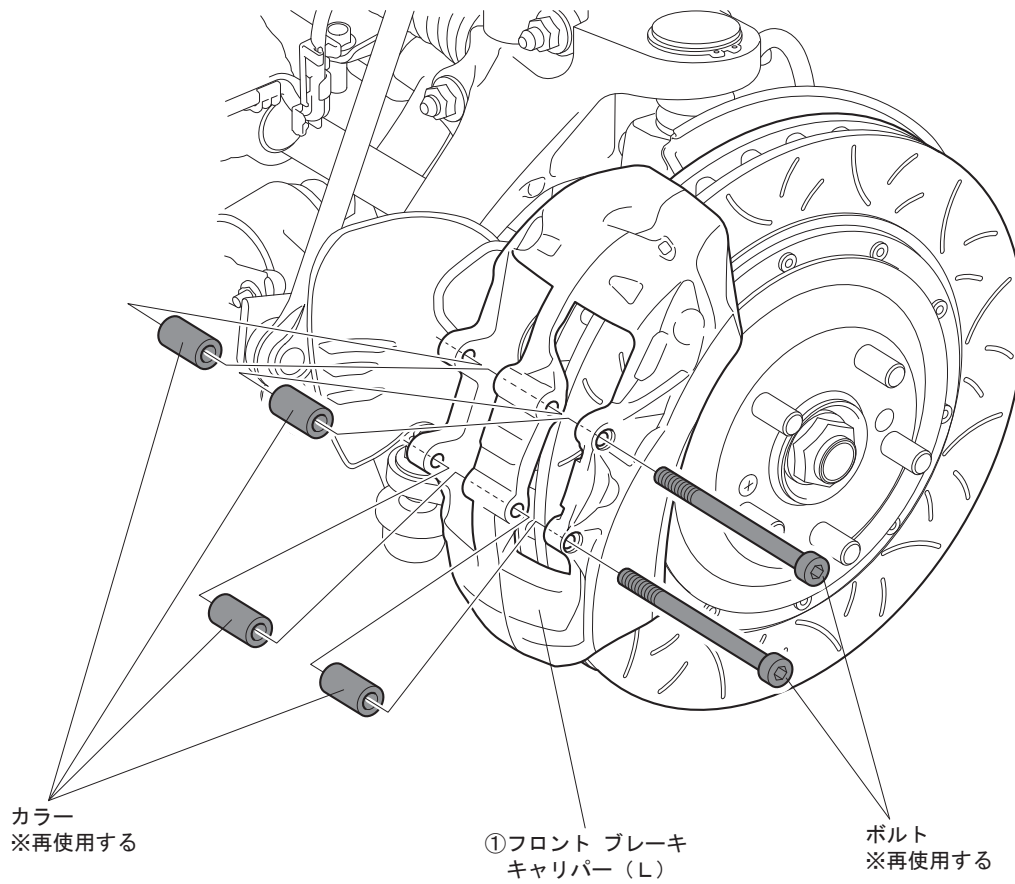


※R側も同様

1 2. ボルトとカラーを取り外す。

### アドバイス

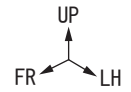
- ・ 取り外したボルトとカラーは再使用する為、紛失や破損に注意すること。



カラー  
※再使用する

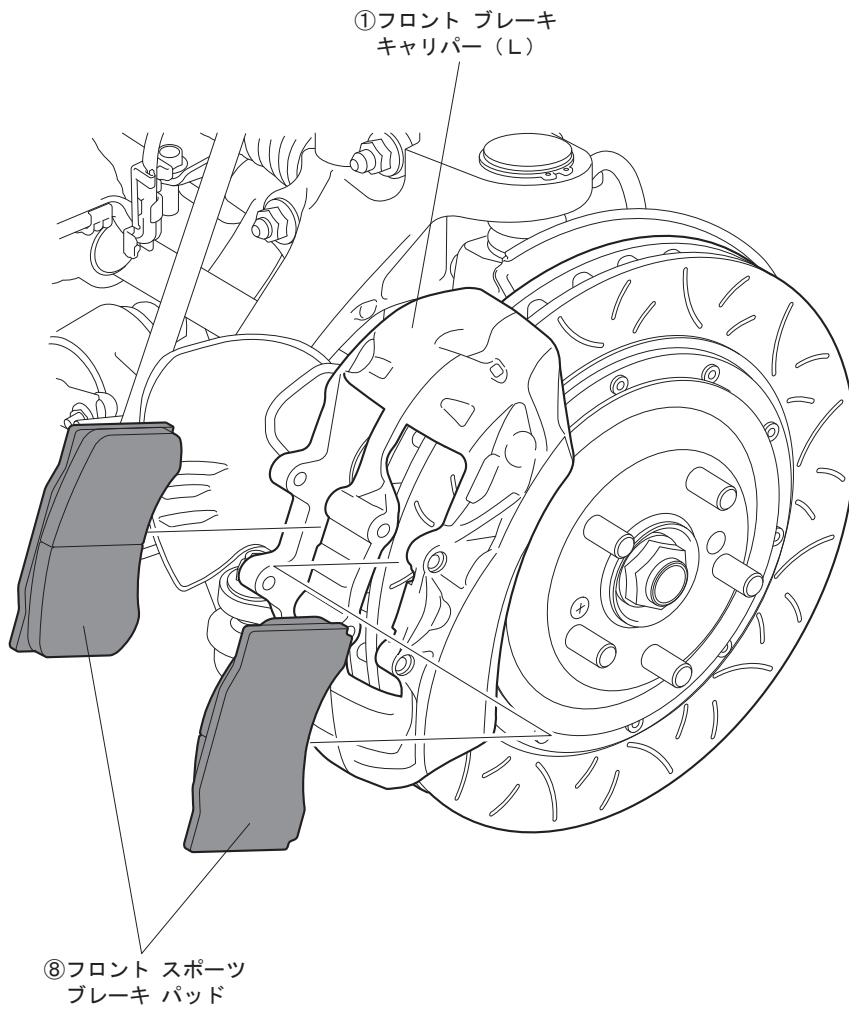
①フロント ブレーキ  
キャリパー (L)

ボルト  
※再使用する



※R側も同様

13. ⑧フロント スポーツ ブレーキ パッドを取り付ける。



1 4. ⑧フロント スポーツ ブレーキ パッドを固定する。

[使用部品]

(8)

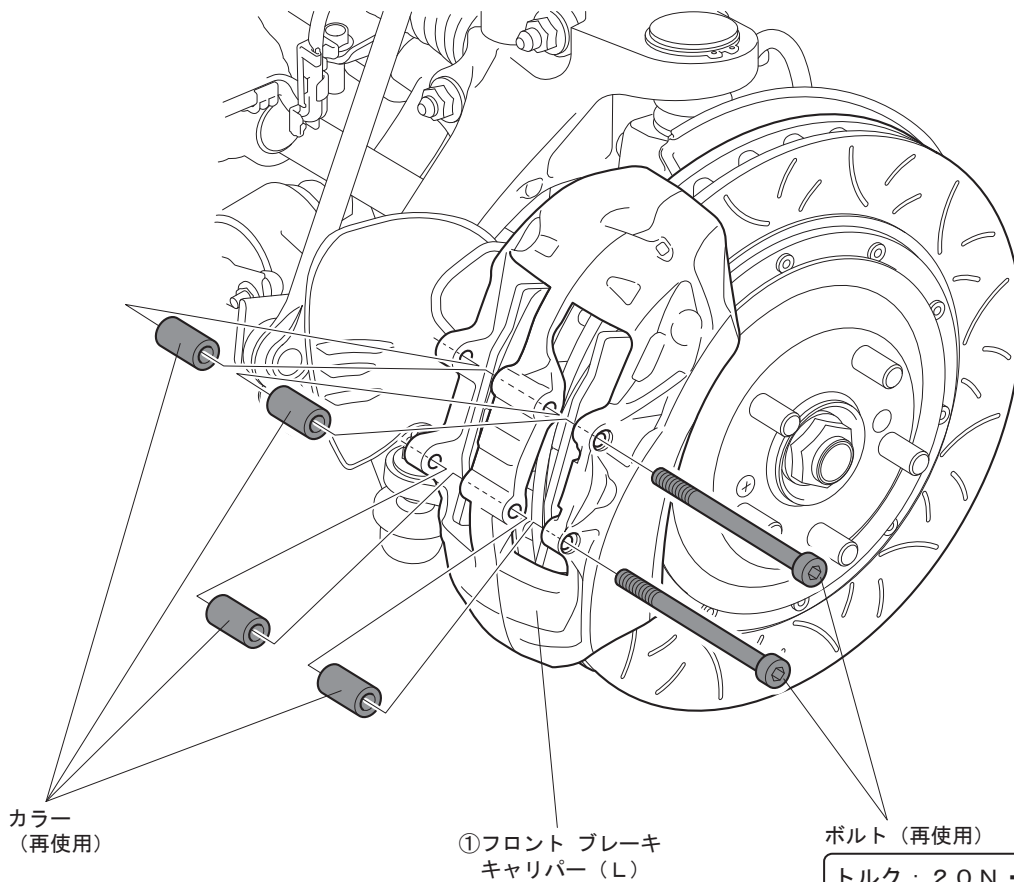


カラー  
(再使用)

(4)



ボルト  
(再使用)

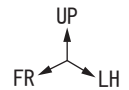


カラー  
(再使用)

①フロント ブレーキ  
キャリパー (L)

ボルト (再使用)

トルク : 20 N · m



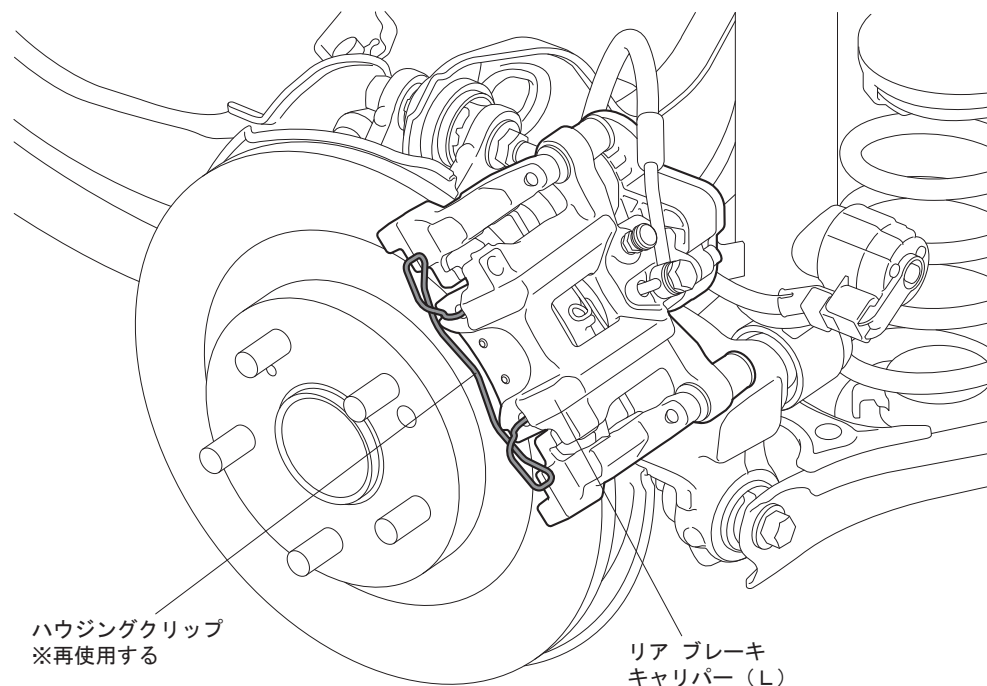
※R側も同様

1 5. 取り付け状態に不良がないか確認する。

### Ⅲ. リア スポーツ ブレーキ パッドの取り付け

#### Ⅲ-I. 取り外し

1. ハウジングクリップを取り外す。



※R側も同様

2. プラグとロケーティング ピンを取り外す。

### アドバイス

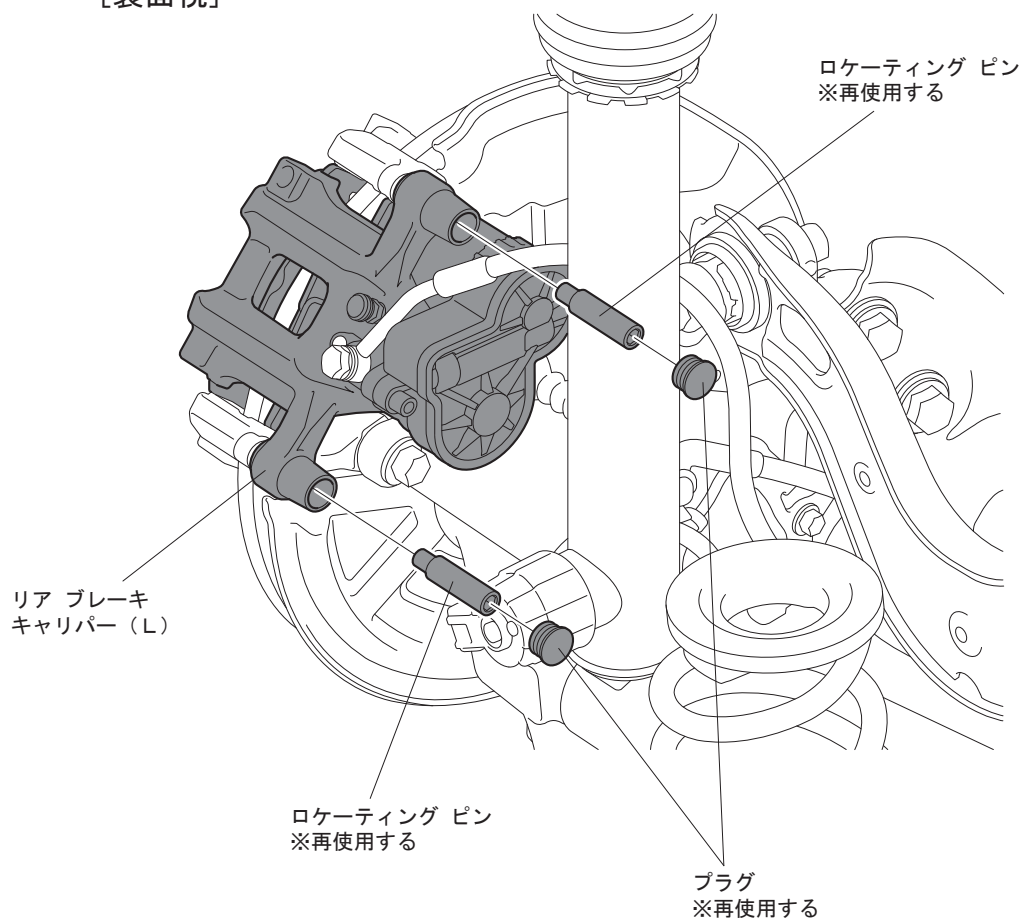
- ・ 取り外したプラグとロケーティング ピンは再使用する為、紛失や破損に注意すること。

3. リア ブレーキ キャリパー (L) を浮かせる。

### アドバイス

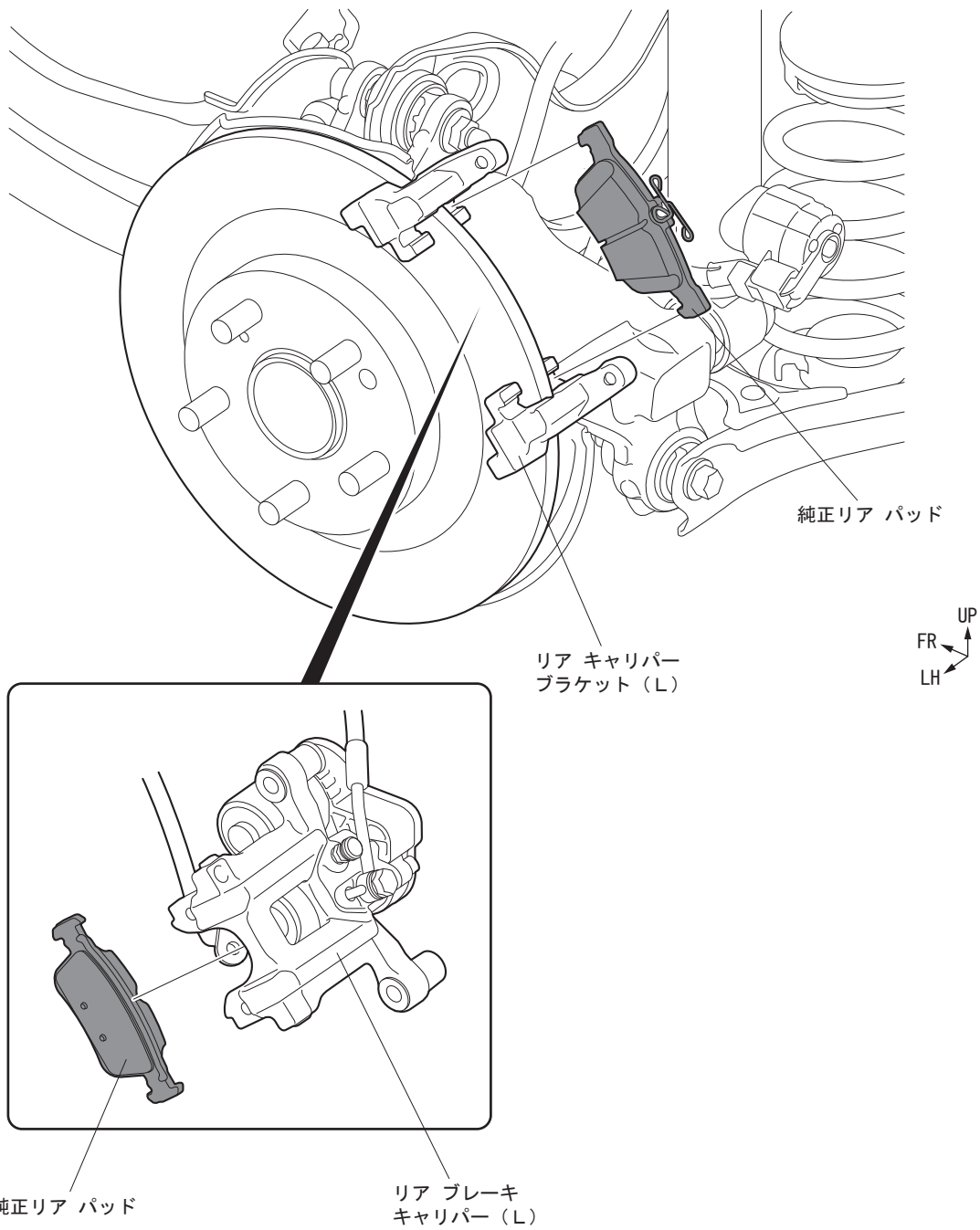
- ・ キャリパーは針金などで吊るすこと。
- ・ ブレーキ ホースで吊られた状態にしないこと。

[裏面視]



※R側も同様

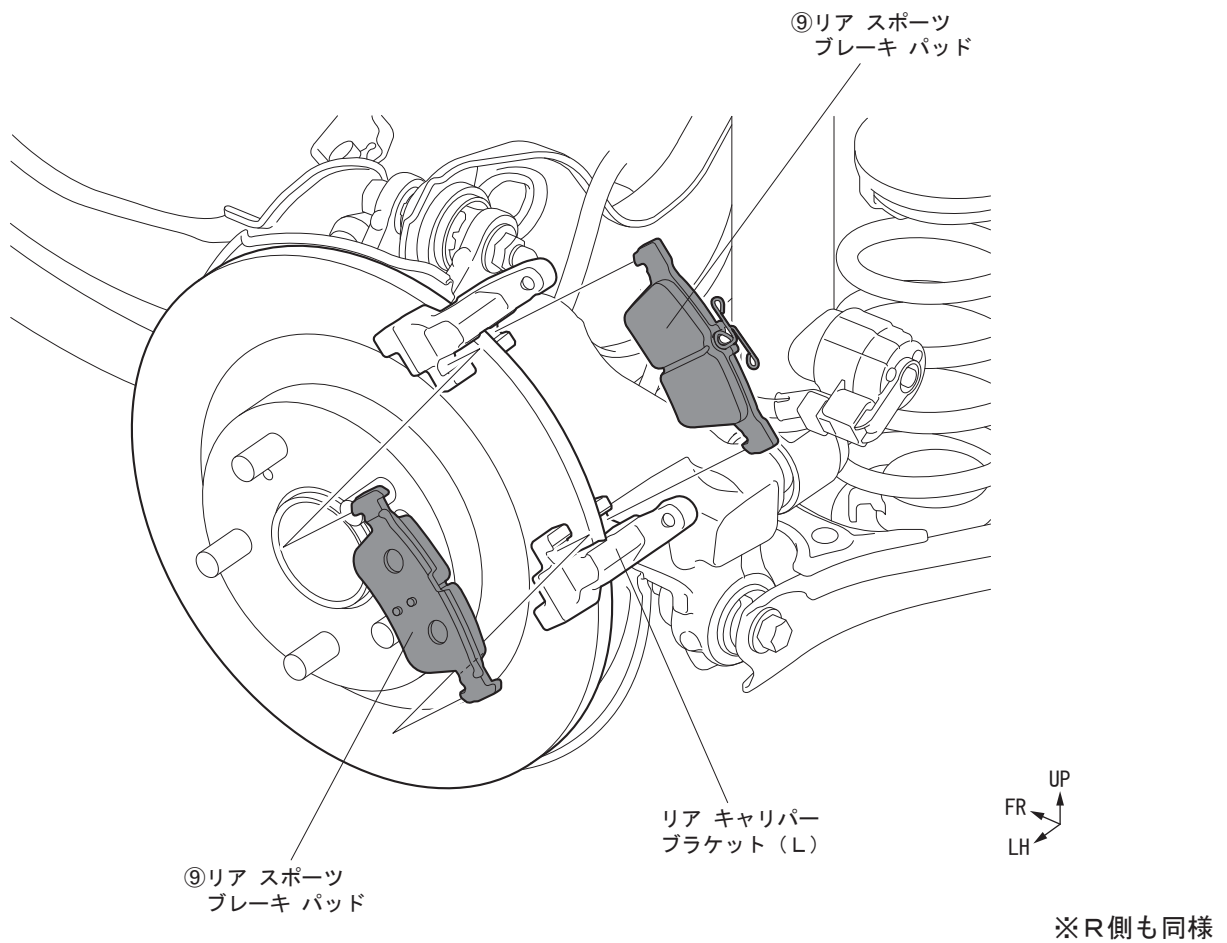
4. 純正リア パッドを取り外す。



※R側も同様

### Ⅲ-Ⅱ. 取り付け

5. リア ブレーキ キャリパー (L) とリア キャリパー ブラケット (L) を清掃し、ピストンを押し込む。
6. ⑨リア スポーツ ブレーキ パッドを取り付ける。



7. リア ブレーキ キャリパー (L/R) を復元する。

ロケーティング ピン  
締め付けトルク : 25 N・m

- 8.ハウジングクリップを復元する。
9. 取り付け状態に不良がないか確認する。

#### アドバイス

- ・ メンテナンス モードから通常モードへ戻すこと。

#### IV. ブレーキ フルードの交換

1. ブレーキ フルードが入れ替わるまで交換及びエア抜きを行う。  
(サービスマニュアル参照)

##### アドバイス

- ・ 4 輪全て行うこと。
- ・ 周辺部品にブレーキ フルードが付着しないように注意すること。
- ・ 周辺部品にブレーキ フルードが付着してしまった場合は、すぐに清掃すること。

ブリードスクリュース締め付けトルク：12 N・m（フロント）、17 N・m（リア）

2. マスター シリンダーのリザーバー タンクのブレーキ フルード量を点検する。
3. ブレーキ ホースのねじれや他部品との干渉、ブレーキ フルードの漏れ等、取り付け状態に不良がないか確認する。
4. ブレーキ ペダルをポンピングし、ペダル タッチがしっかりしていることを確認する。
5. ブレーキの作動に問題がないことを確認する。
6. ホイールを復元する。

ホイールナット締め付けトルク：127 N・m

7. 車両をリフトダウンまたはジャッキダウンする。

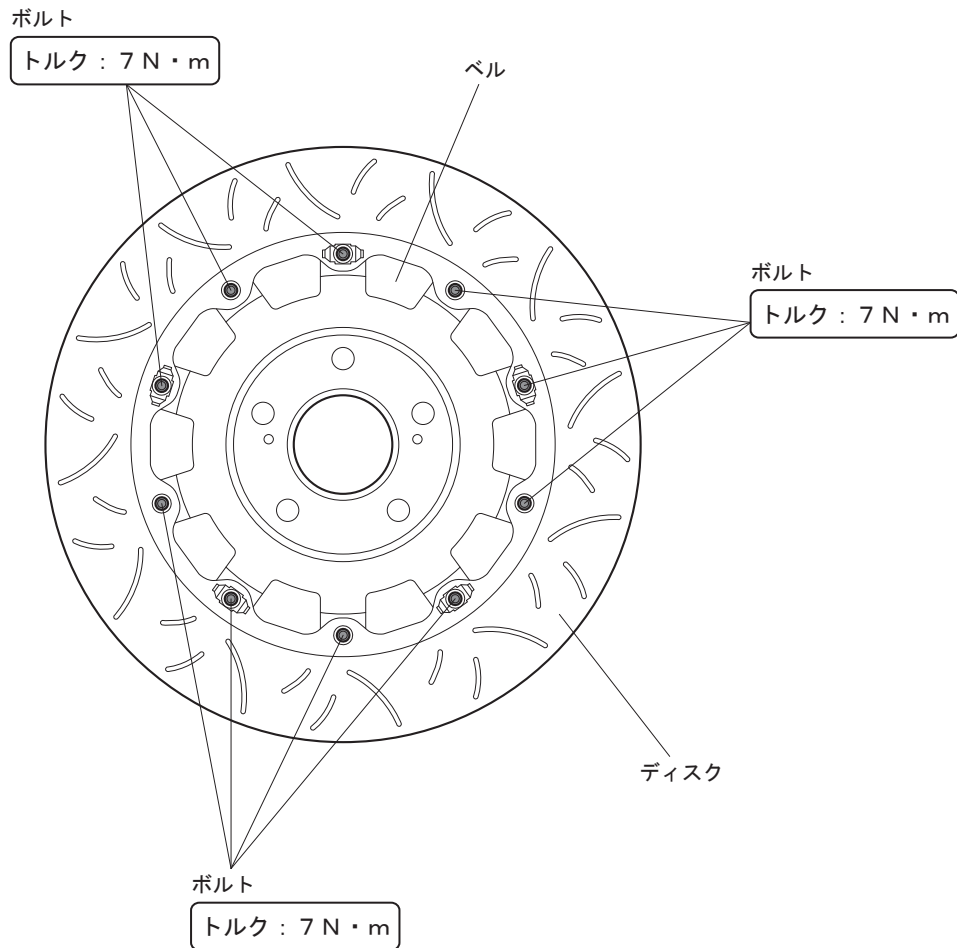
※ディスクとベルを固定するボルトを締め付ける場合は、トルクレンチを使用し、下記指定トルクで締め付けること。

### アドバイス

- ・ 指定トルクで締め付けてもガタつきますが異常ではありません。

※ディスクの交換等でボルトを外した場合は、ネジ部にネジロック剤（高強度）を必ず塗布すること。

#### [裏面視]



#### 〈慣らし運転（当たりつけ）について〉

※装着後すぐに強いブレーキングを多用する等、ブレーキの温度を急激に上げたりせず、効きを確認しながら一般道で約200kmを目安に慣らし走行を行うこと。

サーキット走行を行う場合は、3～5LAPは全開走行せず60～70%に抑えた走行をし、ブレーキの温度を徐々に上げていき、一度自然冷却することを推奨します。  
→パッドとディスクの当たり面が均一に色付けされていたら慣らし運転の完了目安となります。